

平成 2 4 年度

公立大学法人 業務実績評価書

平成 2 5 年 8 月

福岡県公立大学法人評価委員会

目 次

年度評価の考え方	-----	1 ページ
各法人の評価		
1 公立大学法人九州歯科大学		
(1) 全体評価	-----	3 ページ
(2) 項目別評価	-----	4 ページ
2 公立大学法人福岡女子大学		
(1) 全体評価	-----	7 ページ
(2) 項目別評価	-----	8 ページ
3 公立大学法人福岡県立大学		
(1) 全体評価	-----	13 ページ
(2) 項目別評価	-----	14 ページ

年度評価の考え方

1 項目別評価（中期目標項目別評価）

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書等を基に、業務の実績等について調査・分析を行う。

- これらの調査・分析を踏まえ、中期目標の項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）ごとに、中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階で評価する。

- | |
|---|
| <p>5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。</p> <p>4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。</p> <p>3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。</p> <p>2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。</p> <p>1：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。</p> |
|---|

2 全体評価

中期目標項目別評価を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況全体の総合的な評価を記述式で記載する。

また、必要がある場合は、組織・業務運営等に係る改善すべき事項を記載する。

※ 評価委員会の評価は、各法人が中期計画において設定した業務実施の計画や達成目標等を踏まえて行なったものであり、法人間の相対評価をしめすものではない。

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、新たなスタートを切ったところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としているところである。

平成24年度の評価にあたっては、第1期中期目標期間中に整備した運営基盤の強化と同期間内に取り組んだ諸改革を一層進めるとともに、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中5項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、1項目（財務）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項についても、歯科医師国家試験合格率を高水準に回復するとともに、学生の歯科医療人としての自覚を高めるために、初年次教育を演習科目を充実させたカリキュラムに再編するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成24年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

Ⅱ 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
 - ・学生の歯科医療人としての自覚を高めるために、初年次教育を演習科目を充実させたカリキュラムに再編している。
 - ・平成24年度の歯科医師国家試験合格率が全国29大学中2位と高水準であったことを評価する。引き続き、全国トップレベルの合格率が維持されることを期待する。
- (2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成
 - ・口腔保健学専攻修士課程の設置に向け、文部科学省への申請等着実に準備を進めている。
- (3) 教員の教育力の向上
 - ・ワークショップを開催するなどFD（※）の推進に努めている。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称
- (4) 適性のある優秀な人材の確保
 - ・入試説明会、高校訪問等の入試広報活動を積極的に実施し、歯学科、口腔保健学科ともに志願倍率が目標を上回っている。
- (5) 学生への支援
 - ・平成25年度に卒業する口腔保健学科一期生の就職活動を支援するため、学生との面談やセミナーを開催している。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- ・「第1回Asia-Pacific Conference in Fukuoka 2013」を主催したことを評価する。
- ・科学研究費補助金獲得件数が目標を大きく上回るなど、外部研究資金を積極的に獲得していることを評価する。
- ・「地域連携による『ものづくり』継承支援人材育成協働プロジェクト」が文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」に選定され、医歯工学連携を推進していることを評価する。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- ・県立三大学連携県民公開講座を初めて開催したほか、公開講座の開催等により、地域住民や医療従事者に対し、研究成果の発表を行った。
- ・新たにミャンマーや台湾の大学と学術交流協定や覚書を締結し、海外の大学との連携を推進していることを評価する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行っている。

5 財務

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

財務については、年度計画を着実に実施しているものの、附属病院収益が減少していることから、3と評価する。
評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・附属病院については、入院患者数の減少による入院収益の減少等、診療収益が大幅に減少していることから、早急に対策を講じ、改善を図る必要がある。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。
- ・平成26年の創立100周年に向け、記念ロゴマークを作成するなどPRに努めている。

公立大学法人福岡女子大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡女子大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡女子大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、新たなスタートを切ったところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、時代や社会の変化に柔軟に対応できる豊かな知識と確かな判断力、しなやかな適応力を持ち、アジアや世界の視点に立って、国内はもとより、海外の国や地域において、より良い社会づくりに貢献することのできる女性を育成することを最も重要な使命としている。

平成24年度の評価にあたっては、第1期中期目標期間中に整備した運営基盤の強化と同期間内に取り組んだ諸改革を一層進めるとともに、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中5項目（研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、1項目（教育）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項についても、国際的な学習環境を提供するために、海外有力大学への交換留学や海外語学研修への学生派遣、外国人留学生の受け入れを積極的に行うなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡女子大学の平成24年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

福岡女子大学は、平成23年度に国際文理学部を開設し、新しい時代にふさわしい大学づくりに向けた改革に全力で取り組んでいる。今後とも理事長のリーダーシップの下、全教職員が大学の理念の実現を目指し、一丸となって実効性の高い改革を進められることを期待する。

Ⅱ 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- (1) グローバル化時代に求められる基盤的・実践的な能力を養成する学部共通の教育
 - ・ファーストイヤー・ゼミの科目運営方針を整備し、基本的な授業内容の統一を行っている。
 - ・海外有力大学への交換留学や海外語学・文化研修に多くの学生を派遣している。
 - ・海外体験学習プログラム参加学生数が減少していることから、早急な改善が必要である。
- (2) グローバル社会の課題に対応した各学科の教育
 - ・TOEFL 対策講座の開講等、英語コミュニケーション能力の養成を図っているが、目標達成者（TOEFL550点以上）がいない状況にあることから、更なる取組が必要である。
 - ・管理栄養士国家試験合格率が、高水準を維持している。
- (3) 大学院教育
 - ・人間環境学研究科において、臨床栄養師養成のための特別研修科目を開講している。
- (4) 教員の教育能力の向上
 - ・FD（※）の推進に努めており、公開授業として、合同プレゼンテーション大会を開催している。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(5) 意欲ある学生の確保

- ・高校訪問、出前講義、オープンキャンパスの開催等、入試広報活動に取り組んでいる。

(6) 学生支援の充実

- ・就職先を開拓するために、企業訪問や学内企業説明会を積極的に実施している。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・東部地域大学連携での連携公開講座やEUIJ九州事業での国際シンポジウムの開催等、大学間連携事業に積極的に取り組んでいる。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・県立三大学連携県民公開講座を初めて開催したほか、地域交流事業への参加数や高校での出前講義・体験授業数が目標を大きく上回っていることを評価する。
- ・「留学生のための大学進学フェア福岡」の主催や海外での留学フェア参加等、留学生確保に向け積極的に取り組んでいる。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、学内外講師による職員研修会を実施している。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- ・時間外勤務手当の削減等人件費の節減に努めている。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価す

る。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、教員の専門分野や研究概要等に関する冊子を作成・配布している。

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡県立大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡県立大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、新たなスタートを切ったところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質を持った優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

平成24年度の評価にあたっては、第1期中期目標期間中に整備した運営基盤の強化と同期間内に取り組んだ諸改革を一層進めるとともに、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中4項目（研究、社会貢献、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、1項目（教育）について「おおむね順調に進んでいる」、1項目（業務運営）について「やや遅れている」と評定した。

業務運営については、教員表彰制度の制定等が遅れていることから、厳しい評価とした。進捗が遅れている項目については、早急に取り組まれない。

また、中期目標に掲げている重点事項についても、地域住民への各種健康教室・相談事業や不登校・ひきこもりサポートセンターでの相談・支援事業等、社会貢献活動を積極的に実施するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成24年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

Ⅱ 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・社会人としての基礎力を育成するために、演習科目を改善するなど教養教育の充実に取り組んでいる。

(2) 専門教育の充実

- ・「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」が文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」に選定されており、教育の質の向上に努めている。

(3) 教育効果を検証するシステムの構築

- ・看護師、助産師等の各種国家試験合格率が、高水準を維持している。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・教員相互の授業参観システムの構築等、より効果的なFD（※）の展開が必要である。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- (5) 優秀な学生の確保
 - ・オープンキャンパスの開催や入試説明会への参加等、入試広報活動に取り組んでいる。
- (6) 学生支援の充実
 - ・キャリア形成支援研修会の実施や1、2年次のプレ・インターンシップの充実等キャリア支援の強化に努めている。
- (7) 学習環境の充実
 - ・eラーニングシステムの改善に向け、学生の利用状況調査を実施している。
- (8) 人間社会学部の改革
 - ・学内プロジェクト会議による検討を進めているが、進捗が遅れており、早急な取組が必要である。
- (9) 両学部連携の大学院博士課程の新設
 - ・学内ワーキンググループによる検討を行っている。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金の獲得に努めている。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点、以下に示すとおり。

- ・地域住民の健康向上のため、各種健康教室の開催や相談事業等を積極的に実施しており、開催数や参加者数が目標を上回っている。
- ・不登校やひきこもりの児童生徒、保護者に対する相談・支援事業、教員に対する研修・相談事業、県大子どもサポーター派遣事業など不登校・ひきこもり対策を積極的に行っている。
- ・各種リカレント教育実施数及び参加者数が目標を上回っている。
- ・県立三大学連携県民公開講座を初めて開催したほか、「生涯福祉研究センター・山本作兵衛さんを〈読む〉会」が福岡県文化賞を受賞した。

4 業務運営

評価	2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
----	-----------------------------

業務運営については、教員の表彰制度の制定に取組の遅れがあることから、2と評価する。
評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行っている。
- ・教員表彰制度については、教員の志気を高めるためにも、早急な取組が必要である。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、教員の教育・研究・社会貢献一覧を掲載している。